



給水接続

 本製品が正しく接続されていない場合、けがや本製品の損傷のおそれがあります。

本製品を正しく接続しなかった場合、人体への危害や物的損害を招くおそれがあります。

本製品の給水接続は、別刷「設置・施工手順書」に従い、適切な有資格者のみが行ってください。

 汚染された水による健康へのリスクと損害のリスク。

給水する水の質は、本製品を使用する国における飲料水の要件に適合していなければなりません。

本製品を給水に接続します。

給水への接続は、本製品が設置される国の基準に適合していなければなりません。本製品に水を供給するために使用されるすべての部材とシステムも、その国で適用される基準に適合していなければなりません。

本製品は、新鮮な水の水道管に直接接続してください。

水が滞留する可能性のある給水設備には、本製品を接続しないでください。ドリンクの風味が損なわれる可能性があります。

本製品は IEC 61770 および EN 61770 の要件に準拠しています。

本製品は冷水の給水にのみ接続してください。

本製品の内部には、適用されるDIN規格に従って逆サイフォン防止システムが搭載されています。

作動給水圧は 100~1,000 kPa (1~10 bar) の範囲内である必要があります。

必要時に給水が遮断できるよう、本製品のステンレスホースとご家庭の給水管の間に、必ず止水栓を設けてください。本製品の設置後も、止水栓に簡単にアクセス可能な状態にしてください。

本体にステンレスホースを接続する


付属のステンレスホースのみを使用してください。ステンレスホースを短くしたり、延長したり、別のホースに交換しないでください。

異常のあるステンレスホースの交換には、ミーレ純正のホースのみを使用してください。この食品用ステンレスホースは、ミーレオンラインショップ、ミーレ（巻末参照）、ミーレ販売店にてご注文いただけます。

付属のステンレスホースは長さ 1.5 m です。

- 本体背面にある給水接続部からカバーキャップを取り外します。
- ステンレスホースの **角のある** 方の端に、ワッシャーがあるかどうかを確認します。ワッシャーがない場合は、ワッシャーを取り付けます。
- ステンレスホースのカップリングナットを、本体側の栓に締め付けます。
- ねじ式の接続部が正しく接続され、漏れないことを確認します。

給水接続する

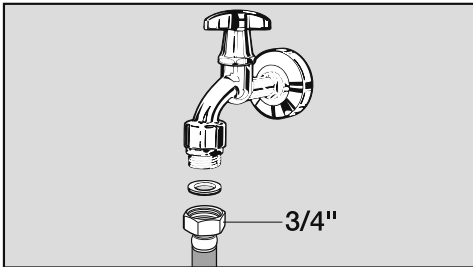
 必ず別刷の「設置・施工手順書」に従って接続をしてください。給水に接続する前に、本体を主電源から外します。給水に接続する前に、止水栓を閉じておきます。

設置

本製品の設置後も、止水栓に簡単にアクセス可能な状態にしてください。

給水接続用のステンレスホースは3/4"止水栓と接続できるよう設計されています。

- ワッシャーが取り付けられていることを確認してください。なければ、ワッシャーを取り付けます。



- ステンレスホースを止水栓に接続します。
- しっかりとねじ込まれていることを確認します。
- 止水栓をゆっくり開き、給水接続の漏れがないか確認します。
必要であれば、ワッシャーと接続部の位置を調整します。

これで、本体の設置を続行できます。

電源接続

本製品を接続する前に、型式表示シールに記載の数値（電圧と周波数）が主電源と一致していることを確認してください。

本製品への損傷のリスクを避けるために、この数値は一致していなければなりません。ご不明な点は、資格を有する電気技術者にご相談ください。

電圧と周波数は、本体内の型式表示シールに記載されています。これらが主電源と一致することを確認してください。本製品への損傷を避けるために、この数値は一致していなければなりません。正しいヒューズ定格も順守する必要があります。本製品には、主電源への接続のための電源コードが付属しています。

可能であれば、コンセントに簡単にアクセスできる状態にしてください。設置後にコンセントにアクセスできない場合は、必ず電源を遮断する別の方法を用意する必要があります。

本製品は「**節電タップ**」で使用しないでください。本製品に供給される電力が減り、オーバーヒートを引き起こします。

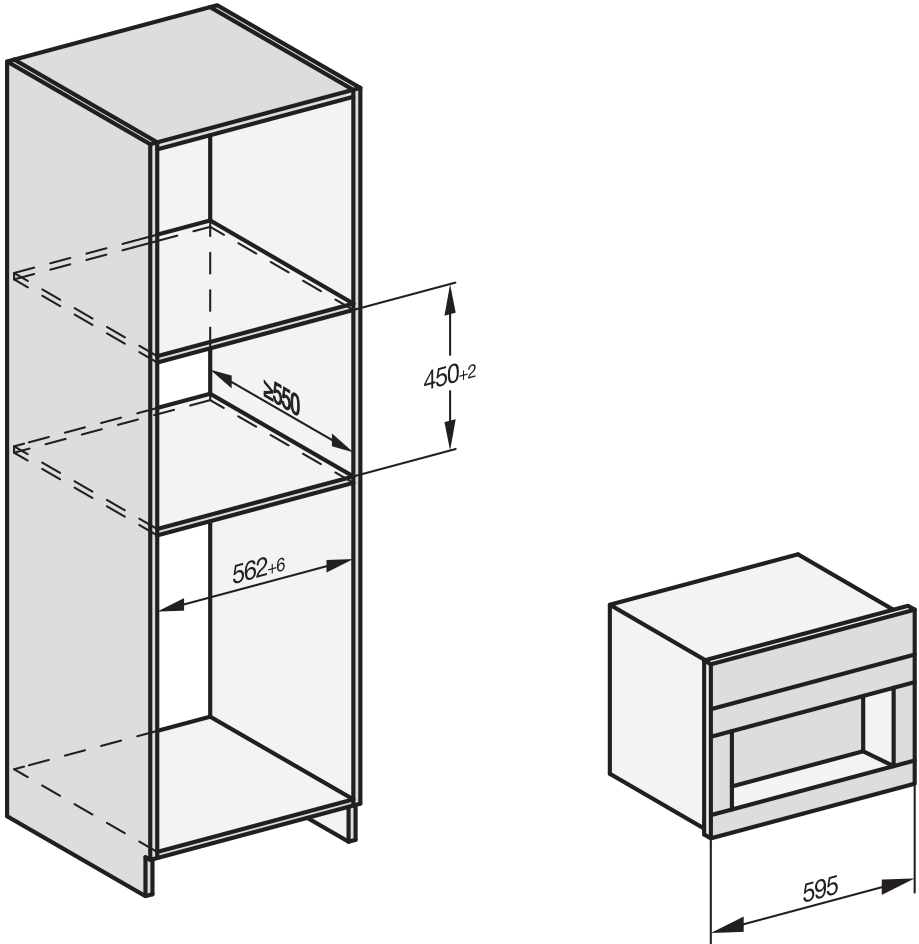
設置

ビルトイン寸法

トールキャビネットに設置する

設置高さは最低 850 mm 確保してください。

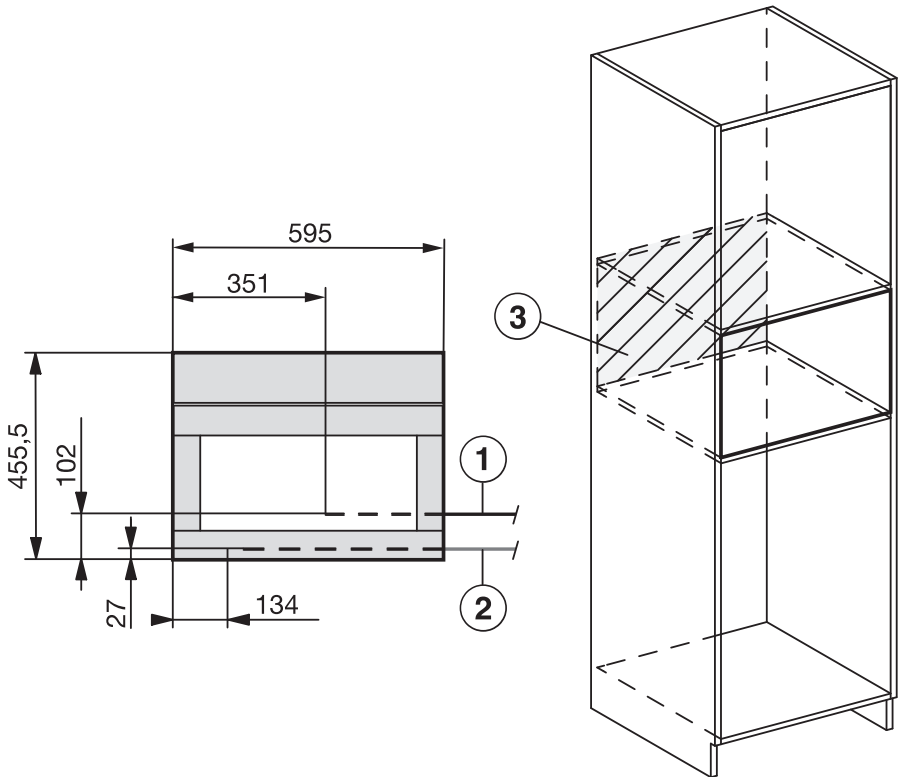
必ず別刷「設置・施工手順書」を参照して行ってください。すべての寸法は mm 表示です。



本製品は、ミーレの他のビルトイン機器と組み合わせることができます。この場合、本製品との間に十分な幅のある棚板を置く必要があります。本製品と組み合わせ可能なミーレ・ビルトインウォーマーの場合は、間に棚板を置く必要はありません。

設置と接続

必ず別冊「設置・施工手順書」を参照して行ってください。すべての寸法は mm 表示です。



- ① 電源コード
- ② 給水接続
- ③ このエリアに電源や給水接続を設けないこと

設置

ビルトイン設置する

⚠ 誤った操作によりがををする危険があります。

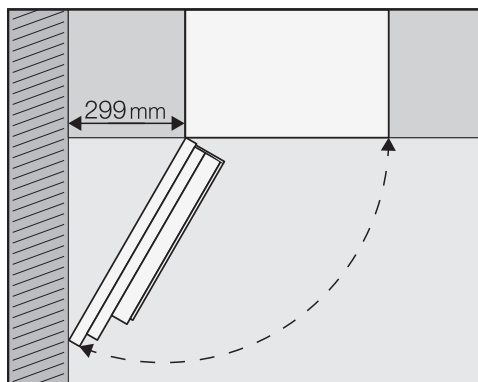
ビルトインされていない製品は安全ではなく、けがを引き起こす可能性があります。本製品はビルトインされていない限り、操作しないでください。

⚠ 誤った操作により損傷する危険があります。

周辺温度範囲が順守されていないと、本製品が正しく機能しない場合があります。本製品は、周辺温度が $+16^{\circ}\text{C}$ から $+38^{\circ}\text{C}$ である場合のみ使用できます。

設置高さは最低 850 mm 確保してください。

左側の豆コンテナを取り外せるように、ドア開口角度は 120° 以上確保する必要があります。



壁などと本製品の間になくとも 299 mm のスペースがあることを確認してください。ドアを開けて左側の豆コンテナ（ドアの最低開口角度 120° ）を取り出す場合にこのスペースが必要です。

設置には TX20 ドライバーが必要です。

ヒント: 開口部分の高さに、本体を一時的に置く場所があると便利です。これにより、電源接続と給水接続がしやすくなります。

給水と電源の接続

「給水接続」および「電源接続」に記載されている情報を確認してください。

- 本体を給水と電源に接続します。

本体の組み込みと調整

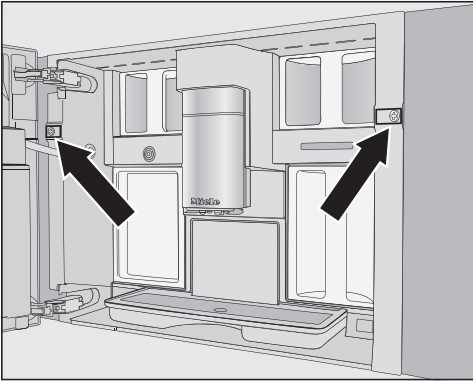
本体を開口部に押し込むとき際に、電源コードや給水接続を挟んだり傷つけたりしないよう注意してください。

- 抵抗を感じるまで、本体を開口部に押し込みます。
- 本体の高さを確認し、開口部の中心に水平に設置されていることを確認します。本体の位置調整をします。

本体の位置調整を、ドアヒンジの調節によって行うことは絶対にしないでください。ミルクジャグの正しく取り付けられず、ミルクを作るプロセスが妨げられてしまいます。

本体をキャビネットにネジで固定します。

- 本体のドアを開けます。



TX20 (25 mm) ネジ 2 個が本製品に付属しています。

- 付属のネジを使って、キャビネットの側壁に本体を固定します。両方のネジを手で締めます。

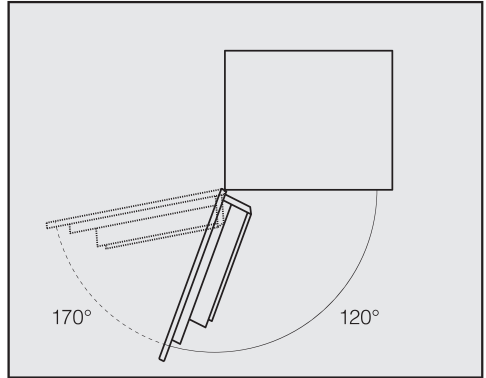
ヒント: 左側のネジを取り付けやすくするために、ドアの開口部リミッターを外し、ドアの開口角度を約 170° に広げることができます（「ドア開口部リミッター」参照）。本体の周辺に十分なスペースがあり、本体のドアが近くの壁などにぶつからないことを確認してください。

- 本体の稼働チェックを行います。

ドア開口部リミッター

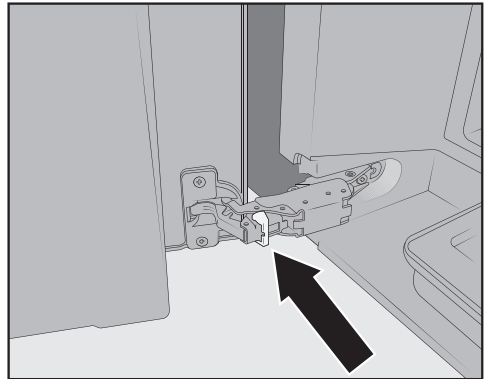
ドアヒンジには、ドアの開口角度を約 120° に制限するドア開口部リミッターが装備されています。これにより、ドアが近くの壁にぶつかったり、開けたときに破損したりするのを防ぐことができます。

ドア開口部リミッターを外して、開口角度を約 170° に広げることができます。これにより、豆コンテナの取り外しなどがしやすくなります。



ドア開口部リミッターを外す

ドアの大きな開口角度のための十分なスペースがあり、ドアが近くの壁に当たらないことを確認してください。



- ドア開口部リミッターをヒンジから取り外します（ドライバーなどを使ってかき出します）。

ドア開口角度が約 170° 度に広がります。